

2018年03月公開版「ささづか便り」

# 月次広報

(町会定例会資料等より)

2018, 03, 11版

渋谷区笹塚仲町会

注1:本資料は、あくまで現時点で公表等されている情報と、仲町会広報担当等の知り得る範囲での情報等を根拠として、記載されております。

注2:社会動向等本資料記載事項に影響のある変化等によって、予告無く記載内容等は変更される可能性がありますので、最新情報は仲町会までお問い合わせください。

注3:「気づいたこと」や「今後」に関しては、改善や対処検討等すべき点とも言えます。

## もくじ

### 1、お知らせ(直近の地震活動)

### 2、広報関係—1件

### 3、地区防災関係、—4件

### 4、編集後記

仲町会のホームページを見るには、

1、スマホやPCで、「笹塚仲町会」で検索してください。

2、検索結果のリストの、[渋谷区笹塚仲町会公式ホームページ: ささなか](#)  
別な方法:

①ホームページURLを直接入力し見る。

<https://shibuya-sasanaka.jimdo.com/>

②QRコードでアクセスしてみる。----->



笹塚幼稚園様の防災用テントの中



# 1、お知らせ(注意喚起)

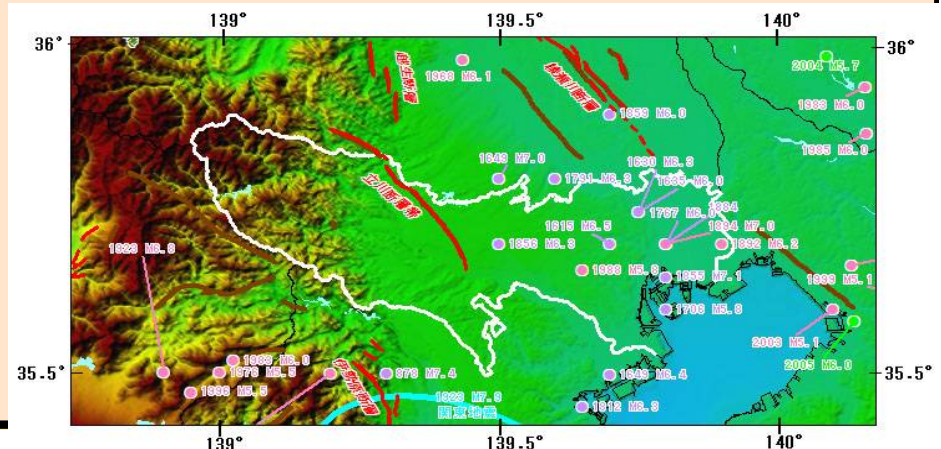
環太平洋地域が地震活動が活性化しています。国の防災計画も地震予知は不可能として計画見直し。地域で支え合う、援助が来るまで間生き延びる。自助・共助。

## 参考最近の震度3以上の地震情報:

深度の浅い内陸直下型が目立つのと、発生する地震規模が少し大きくなっています。不思議な現象ですが、環太平洋地域の遠い反対側等でも呼応するかのよう地震や火山活動が発生します。北海道海溝付近と千葉県東方や琉球列島あたりが交互に地震発生する等。あとは、中央構造線エリアの地震も気がかりです。(中国内陸部とフィリピン近海で発生した後も)

2018/03/09 18:15:50.7	陸奥湾	41° 10.7' N	141° 15.9' E	93km	M4.4	震度3
2018/03/01 23:11:38.2	西表島付近	24° 15.2' N	123° 47.7' E	15km	M4.4	震度3
2018/03/01 22:42:26.7	西表島付近	24° 14.9' N	123° 49.2' E	15km	M5.6	震度5弱
2018/02/27 08:08:02.1	茨城県南部	36° 13.4' N	140° 05.1' E	54km	M4.3	震度3
2018/02/26 01:28:39.7	福島県沖	37° 32.2' N	141° 45.7' E	40km	M5.8	震度4
2018/02/22 07:56:24.4	長野県南部	35° 51.6' N	137° 36.3' E	5km	M3.2	震度3
2018/02/19 04:03:16.9	茨城県北部	36° 41.6' N	140° 35.3' E	9km	M3.7	震度3
2018/02/19 03:31:36.5	豊後水道	32° 54.2' N	132° 09.7' E	40km	M5.0	震度4
2018/02/17 06:38:45.6	宮城県沖	38° 25.5' N	141° 58.8' E	57km	M4.5	震度3
2018/02/13 16:17:11.6	長野県南部	35° 51.8' N	137° 35.5' E	6km	M3.2	震度3
2018/02/13 14:39:44.6	長野県南部	35° 51.9' N	137° 35.6' E	6km	M4.1	震度4

八丈島東方沖(M6.0)で発生 2017年11月16日  
カムチャツカ・ベズイミアニ山が大噴火 噴煙高さ15km! 2017年12月20日 15時26分  
中米ホンジュラスでM7.6 2018年1月10日 11時51分頃  
南米西部ペルー沿岸M7.3 2018年1月14日 18時19分頃  
アラスカ沖でM7.9の地震が発生 2018年01月23日(米地質調査所はM8.2と修正)  
本白根山で23日09時59分に噴火が発生しました。 2018年01月23日 09時59分  
インドネシア・ジャワ島沖23日、M6.0の地震 2018年01月23日 日本時間15時34分頃  
フィリピン・ルソン島で火山噴火、6万人が避難 2018年01月24日 19時29分  
蔵王山噴火警戒レベル2へ 平成30年1月30日14時38分  
噴火警戒レベル3(入山規制)霧島山(新燃岳)平成30年03月10日05時05分  
出典:気象庁 各種データ・資料 震度データベース検索  
<http://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.php> 他。



## 2、広報系①

1、仲町会や仲町会から参加している委員等の活動状況について

2、地域活動全般の広報ですので、遠慮なくお知らせください。

- ・00日にこんな活動します。

- ・・・今度順番に取材するかもしれません。

- ・00日にこんな活動しましたよ。

- ・・・事前に知っていて日程が合えば取材に行けます。

3、私のメールアドレスは、町会までお問合せください。

4、普段仕事で電話に出られないことが多いので、上記メールか、**会長まで**お知らせください。

### 3、地区防災関係①

#### 1、概要

02月14日に、東京理科大森田先生に、簡単に仲町会エリアを実査していただきました。

#### 2、良かった点

火災の専門家の視点から様々なアドバイスを頂戴しました。公開されている資料の意味も、改めて認識できました。

#### 3、気づいた点

笹塚仲町会エリアの地域特性を理解したうえで、防災・減災に向けた具体的な計画作りが大事です。

#### 4、今後

森田先生は、仲町会の防災活動に関し有識者として今後もアドバイスいただけることとなりました。交流のある、室崎先生も内諾調整いただきました。有難いことです。

### 3、地区防災関係①

## 有識者森田先生(日本火災学会名誉会員)に、笹塚仲町会地域をご覧いただきました。(02月14日)



当日笹塚幼稚園にて園長先生と森田先生

当日は、笹塚駅改札で待ち合わせをして、甲州街道に向かい、その後フレンテ横の一時集合場所を見ていただき、笹塚幼稚園訪問。園長先生のご案内の下、防災倉庫を見学。その後町会事務所を見て、京王線高架をくぐり木密地域を歩き、仲町会保倉の会社事務所にて、仲町会エリアを実際に見た感想や意見交換等を行いました。

火災の専門家としてのご意見としては、笹塚地域特性としては、ビル風がある笹塚仲町会エリアは、糸魚川大火教訓等も踏まえ、防火対策、初期消火に尽きる。とのこと。

一見大丈夫そうなところにも、様々な危険が潜んでいること等を、本当にわかり易く丁寧に、且つ多岐に渡りアドバイスしていただきました。ちょっとした工夫でできる可能性のある対策等、今後の取り組みの大事な糧としたいと考えております。

また、仲町会取り組みへのご協力を改めてご了承いただきました。火災以外の災害に関しては、室崎先生(下記参考)からも、回答頂戴できるよう調整いただけるとのこと。誠に心強い有識者様です。

参考:

総務省 消防庁 自主防災組織の手引き H29年03 座長 室崎益輝 先生

[http://www.fdma.go.jp/html/life/bousai/bousai\\_2904.pdf](http://www.fdma.go.jp/html/life/bousai/bousai_2904.pdf)

東京都都市整備局 あなたのまちの地域危険度 2018平成30年

[http://www.toshiseibi.metro.tokyo.jp/bosai/chousa\\_6/download/kikendo.pdf?1802](http://www.toshiseibi.metro.tokyo.jp/bosai/chousa_6/download/kikendo.pdf?1802)

## 3、地区防災関係②

### 1、概要

02月24日に、内閣府主催のTEAM防災ジャパンイベントに出席。

### 2、良かった点

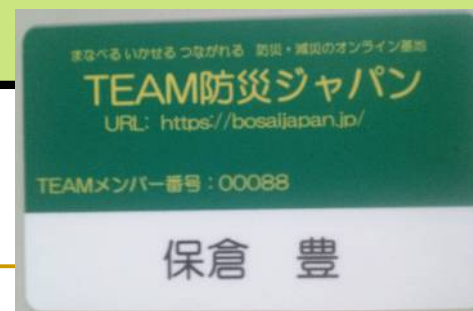
内閣府や自治体担当者、更に各地の町内会や自主防災組織、NPO等の防災活動を実施している方々との、生の意見交換ができました。

### 3、気づいた点

大規模な災害が発生してしまうと、どの立場の組織や人々も被災者となります。地域特性の違いから現実的な課題は異なりますが、先ずはそうした地域特性を踏まえた一歩を踏み出すことが大切です。

### 4、今後

次回は、事前にお知らせしますので、関心のある方は是非一緒に参加しましょう。



## 3、地区防災関係②

他地域の防災活動の実情や課題、課題を超える際に役立ったこと等、有意義な交流等ができました。

まなべる いかせる つながれる 防災・減災のオンライン基地

**内閣府 TEAM防災ジャパン**  
運営：内閣府政策統括官（防災担当） 協力：防災推進協議会  
URL: <https://bosaijapan.jp/>

**定員70名**

### TEAM防災ジャパン 第2回オフラインミーティング <昼の部> in 東京 開催のご案内

昨年11月26日（日）に宮城県仙台市にて開催された「ぼうさいのたいくたい」にて、初めて「TEAM防災ジャパン オフラインミーティング<昼の部>」と称して、防災に取り組まれている方々が顔合わせのできる場を設けました。大変好評で、参加者からは継続的な開催が求められていました。

そこでこの度、2月24日（土）に東京にて、**「TEAM防災ジャパン第2回オフラインミーティング<昼の部>」**を開催いたします。

今回は、「大規模地震に向けて、どう備えるか？」をテーマとして、皆さまが日頃より取り組んでいる「防災・減災活動」の情報や課題の共有など、これからの防災について語り合う場としたいと思います。

日頃から防災活動に取り組んでいる方、防災に興味を持っている方など、どなたでも可能です。皆さまの参加を心よりお待ちしております。

**TEAM防災ジャパンとは**  
内閣府（防災担当）が運営する防災に関するあらゆる情報が集約されたポータルサイトです。全国各地で行われている防災イベントの紹介、防災に関連するニュースや防災教育コンテンツの提供を行うほか、様々な団体が作成している防災に関する資料などを集約しています。

**日時** 2018年2月24日（土） 14:00～17:00（受付開始13:30）

**会場** 水と森の市民カレッジ 研修・交流室1・2  
〒100-0012東京都千代田区日比谷公園1-5（日比谷公園内）  
（東京メトロ・有明線駅より徒歩3分、日比谷駅より徒歩5分）

**お申込** ご氏名、ご所属、メールアドレス、電話番号（当日の連絡先）、防災活動に関する困りごとを明記の上、下記「申込フォーム」サイトよりお申込ください。  
<https://bosaijapan.jp/application20180126/> ※2月16日（金）までにお申込ください。

**お問合せ** TEAM防災ジャパン事務局  
アビームコンサルティング株式会社 河野  
E-mail: [info@bosaijapan.jp](mailto:info@bosaijapan.jp)

### プログラム

**テーマ** 大規模地震に向けて、どう備えるか？

テーマにあわせて、2つのプログラムを用意しています。

★地域防災リーダーによる話題提供

日頃、地域防災に取り組んでいる防災リーダーから、防災を行っていく上での課題や悩みなどについて話題提供をします。ここで出された課題や悩みについて、参加者皆さまで解決策や、課題を克服するための工夫を語り合ひましょう。

★全員参加型グループディスカッション

日々取り組んでいる防災活動について、「どんな問題があるか？」「どうやったら解決できるか？」「どういう価値を作っていけばいいか？」などについて、参加同士で語り合ひ、情報共有ができる機会としましょう。

進行役：鍵屋 一氏（跡見学園女子大学 教授）  
中川 和之氏（時事通信社）

※プログラムは予告なく変更することがあります

このようなイベント参加ははじめてでしたが、様々な立場の方々と防災というキーワードで意見交換等を行うことができ、大変勉強になりました。

勿論、防災関係の企業参加もありましたが、ご担当者様はいたって真面目に地域の防災活動に対する応援の姿勢がありました。

次回は、名古屋とのことで、参加できるかは微妙ですが、今年の秋には、再度東京でイベントがあるようです。

各地の防災活動している方と知り合える、良い機会です。

仲町会 保倉 豊



※同日18時から日比谷近辺で「TEAM防災ジャパン第2回オフラインミーティング<夜の部>」と称して懇親会を行いますので、こちらの参加の検討もよろしくお願ひいたします。

参考：内閣府 TEAM防災ジャパン  
<https://bosaijapan.jp/>



### 3、地区防災関係③

#### 1、概要

02月25日、仲町会と笹塚幼稚園様との実験的防災訓練実施。  
仲町会有志、笹塚幼稚園、渋谷区防災課、渋谷区議による。

#### 2、良かった点

とにかくやってみる、第一歩でしたが、思いのほか関係各位から様々なご意見が出ましたが、基本的には好意的なもので、今後の活動の更なる発展に向けた活動となりました。

#### 3、気づいた点

当たり前のことですが、実際に倉庫から出して、テスト等してみないと分からないこともある。更に、いろいろな参加者が居ればいろいろな気づきやアイデアが出る。

#### 4、今後

広く参加できる体制を整え、輪を広げる地道な活動化していきたい。

### 3、地区防災関係③



### 3、地区防災関係③



### 3、地区防災関係③

参加各位主要コメント及び保倉の当日理解等：当日意見交換会及び事後メール等によるコメント含む

直前雑談：

幼稚園のテントは、思いのほか張るのが大変だったが、一度コツをつかめば大丈夫だ。  
防災関連の器材は、結構重たいので、幼稚園の先生だけだと大変だろう。

事後園庭の清掃をもう少しきちんとしなければいけません。等々

区防災課様：

住民自ら備蓄倉庫等の器材を出して訓練を実施するというのは、はじめての例なので非常に勉強になった。

会長：

皆様のご理解とご協力の下、区防災課様や区議各位にもご参加賜り、無事笹塚幼稚園様との合同訓練が実施できたこと、本当にありがとうございます。近隣住民への配慮から炊き出しに関しては、薪とガスコンロ併用を考えていたが、薪だけでなく炭を利用したことも良かったのでは。地域の皆さんに関心を持ってもらうことと、リーダーを育てる必要性がある。

Bさん：

(全体に関し)はじめてのことなんだから、大変よくできました。

Nさん(民生委員)：

発災時に本当に火を使えるのか。トイレは重要です。消臭剤や廃棄物ビニール等準備しておく必要があるのでは。笹塚幼稚園様が、園児が居ないときに関しては今回のように地域にご協力いただけることが分かったことだけでも、非常に大きな意義があると考える。要援護者の避難に関しては、プライバシーが気になるのと、次回の訓練では車いすを用いた訓練を実施しては。

\* 園庭のような場所で安全を確認してから火を使うということになると考えます。トイレの件は、同感です。

次回訓練に車いすによる避難訓練も組み入れたいと考えます。

O夫人：

幼稚園様からの了承はあったが、実際にどのように使えるようになるか。使わせてもらえるか。幼稚園の備品等の点検やガスボンベ(カセット型)の安全性の確認等も気になる。

\* 区も行っているが、この場合町会と幼稚園との間で協定締結することになるのではないかと。ガスボンベ利用は、日常の管理も、家庭で利用できるものなので特段厳しい制限は付いていない。ガスボンベ式の非常用発電機を区も保有している。(他方家庭でのカセットガスボンベの事故は実際にはある)

Y子供：

簡易トイレのテントに入れたのが楽しかった。非常食が以前食べたのより美味しかった。

\* 大事な視点・コメントだと思います。

### 3、地区防災関係③

#### H議員:

私立幼稚園と町会が協力して実施する住民参加型の防災訓練は、はじめてです。逆に言うと既存の制度等に想定のないモデルですから、どのように位置づけるか、自助の在り方として面白い取り組みである。先程のガスボンベの件は、実は消防団でも保有している。折角持っている備品等に関し、いざという時に使えないのでは困るので、幼稚園のカセットボンベ型発電機のエンジンオイルの件もあるが。

\* 物理的に避難所確保ができない場合には、今回のような形で自主的に現実解を見出す活動が必要になると考えます。公的な目で、今回の取り組みがどのような位置づけになり、どのような支援措置等が適用できるようになるかは、今後のことですが、支援があった方がより活動しやすくなる気がします。

#### 園長先生:

園児が居ないときということになりますが、幼稚園と町会で双方のハードソフトをどのように利活用していくか。今回の訓練で、いろいろ気づかなかったことが分かりました。

\* 今回の合同訓練は笹塚幼稚園様のご理解とご協力なしに実現しなかったことです。今後も町会と相互協力し、実際に役立つ防災、減災に向け、取り組みを進めていければと考えております。

#### Y夫人:

ご飯だけではなく、野菜、果物、たんぱく質等々、提供できるようにしたい。今回は湯煎料理を試してみましたが、他にも工夫できると思います。また避難所でのレクリエーション的なものも何かあればと思います。

\* お湯があるということ、火があるということは、いろいろとレパートリーが考えられるかもしれません。また、避難所での生活がギスギスしないようにするには、どうしたらよいか。大きなテーマです。

#### 区防災課A:

いつもこうした場でお話しますが、発災時には行政も同時に被災しているので行政にすぐに何かを期待をしないで、自助、共助を実施していただきたい。→地域毎の防災力のアップ→使えるものは何でもつかう→事前の地域事業者等との協定→地域で考える→こうした訓練等で経験と練度を上げる必要がある→こうした活動に若い世代も入れる→防災だけでは入らない

#### 区防災課B:

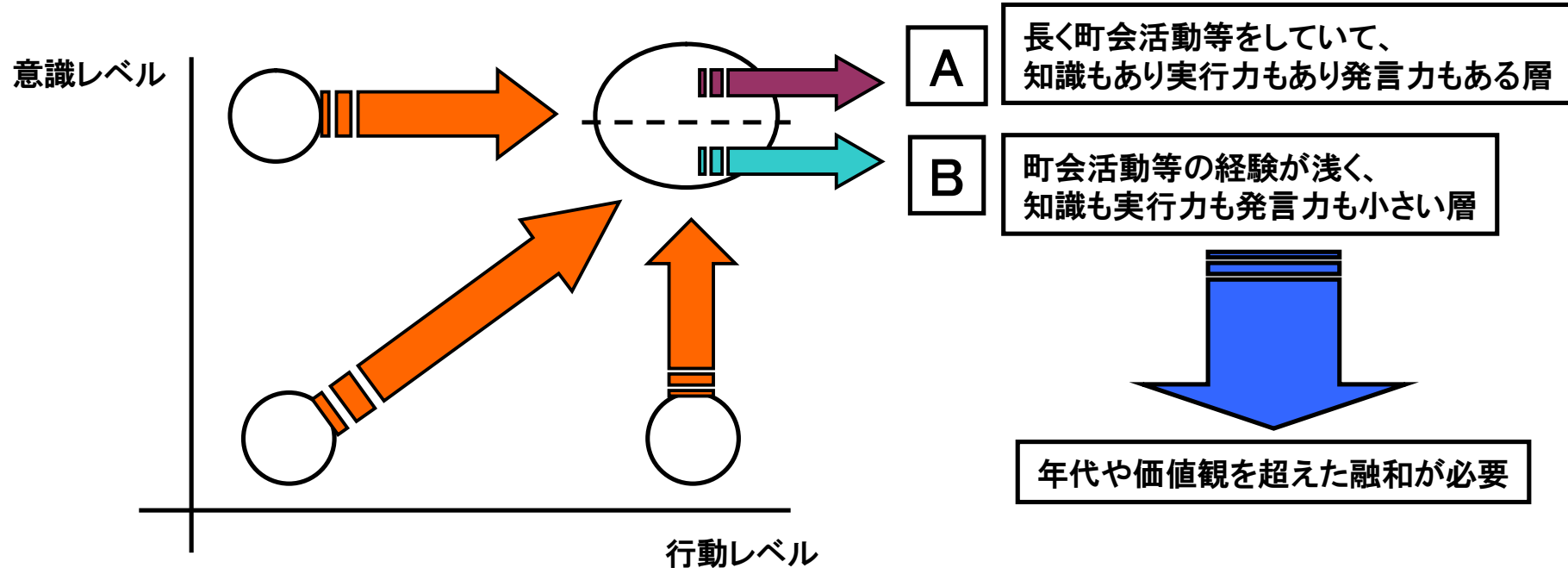
帰宅困難者対策(負担)と言う観点もあります。基本的には受け入れ施設として学校があつたりしますが、企業にも無理に帰宅させないよう指導している。また、企業は備蓄も義務付けている。発災時に日頃防災活動に積極的な人が必ずしも地域に居るとは限らないし、極論動けないかもしれない。そうなると、今後はむしろ避難者に避難所スタッフとして活躍してもらうことを考えると良い。つまり、地域の人々にスキルアップしてもらう必要がある。

\* 根気強く、且つ多様な年代層等を巻き込んだ防災等の町会活動が必要になりますね。

### 3、地区防災関係③

Yさん:

前日のTEAM防災ジャパンの受け売りですが、地域全体をいかに底上げしていくかは、どこの町会や自主防災組織でも、大きな課題です。TEAM防災ジャパンで出た話しの中で、地域防災活動に関する住民のグルーピングと、今後の方向性に関し、下記の図が提示され意見交換をしました。



Yさん:

上図右上のA層とB層がうまく交流し地域活性化させていく必要がある。が、多くの場合時間を要する。つまり、いつかではなく今からやる必要がある。

若い世代が多いBの層を巻き込むには、これも受け売りだが、Bの層の特性を考え、

- ・防災活動をしている人はカッコイイ
- ・防災活動は実は楽しい
- ・防災活動をすると人の輪が広がる等々、

昭和の香りのする防災活動から脱却していくことも一つの手段。

等々書ききれませんが、多様な意見交換をしました。今後、全体をまとめ次の活動に向けた案を作成します。

### 3、地区防災関係③

参加者から届いた一言(固有名詞は削除しましたが敢えてそのまま記載します。まだ受け付けてます):

防災の言葉は、【向こう三軒両隣】です。

日頃から、お隣と挨拶していれば”あ～、こんな人住んでいるんだなあ～”ぐらいの関心でも、いざ！と言うときに消防団の〇〇です。とか、民生委員の〇〇です。大丈夫ですか？よりも、隣の〇〇です。

の方がドアを開けてくれるかもしれない。と思いますし、お隣さんからの情報など得ることが出来ると思います。

日頃から、2000件も見回りすることは出来ないでしょうから！

トイレのテントが楽しかった。

改めて、事前に練習しておくことの重要性を痛感しました。

特に、まず第一に自助、その上で初めて共助が可能ということ。

自分(は幼稚園——特に園児がいる時)は園児・教職員との避難が最優先となること。

その避難の方法の中でまず自分達で自分達が助かるには・・の中でも色々な状況を考えなければならない。

更にその一点だけでも、3・11の時を振り返ると実際には恐らく子どもを迎えにいらした保護者(特に母親)の多くは、帰宅を怖がり園内に留まるだろうこと。

これを想定した訓練が園独自に必要なことと、その状況で尚地域の方との連携が採れるとしたらその方法は？

保護者の方も積極的に役割を担って行ってもらうことにもなるだろうし、それを想定した訓練も来年度以降の園の年間計画に組み込む必要性もわかりました。

また、実際には想定外のことも多々あるだろうということで、その場での『あるものを使う・何でも使う』

臨機応変な対応が必要とされることも突きつけられました。

・・では、マニュアルに則った訓練の必要性はないのか？と言えどももちろんそのようなことは無いわけで・・

以下に思いつくままに、町会さん・園共に、又は町会のみでも今後の課題になるのかなと

思われることを列挙してみました。

1. 幾つかの予想される状況に応じたマニュアル(訓練手順)作成し、を実施すること

たとえば、災害時の幼稚園の状況のみに限定しても

- ・在園児が保育中(園児・教職員・迎えに来れる保護者／園児と帰宅・園児と留まる)などがいる場合
- ・在園児・教職員がおらず(夜間・その他)園長がいる場合
- ・在園児、課外教室の生徒と教職員がいて園長不在の場合

### 3、地区防災関係③

2. とにかく火災等で現状では幼稚園が利用困難となった場合の町会・地域住民が採り得る避難方法やその判断基準等を想定し、マニュアル化し、訓練しておくこと

- ・防火活動
- ・消火活動
- ・要支援者救護活動
- ・避難場所の特定と避難誘導

などなど・更に、そうした訓練のみならず、平時からの取り組みとして、各方面への呼びかけや連携づくりが必要ということ。その中のひとつとしての子どもの居場所作りなど、この町会／地域単位のコミュニティづくりという広い活動が組み合わさって、イザ、という時のソフトパワーになるのだな、と思いました。

途方もなく広がっていくようにも思われますが、その中の、『あるもの・できること』を行動に移していくことが最善なのでしょうね。キーワードについて

すぐ上に記述の各方面への呼びかけや連携づくり、に絡んで「縦横無尽」・「クロスカウンター」な活動の上に初めて『人材』ができていくということで、施設や物資などのハード面の整備の後は『人材』確保のための取り組みが課題である、と感じています。

P.S.

エンジンオイルSAE10W-30のボトルは昨日中に、Yhoo!ショッピングで注文済みです。(アマゾンでは取り扱い対象外でした) 長々読みづらくてすみません、今後とも宜しくお願い致します。

本日はお疲れ様でした。

渋谷区の一時的避難場所や避難施設に指定されていない、私立幼稚園と連携しての防災訓練は大変興味深く、また参考になりました。

私の住む幡ヶ谷中町町会の課題でもありますが、

「世代を超えたコミュニケーション」

「話し難い事も“腹を割って”話す」

です。

私自身もより危機感を持ちつつ、みんなが関心を持てる防災の仕組みを考えて行きたいと思います。本日は大変ありがとうございました。



### 3、地区防災関係③

先日は訓練にお呼びいただきまして、ありがとうございました。新し取り組みについて学ばせていただきました。ところで、その際に「防火水槽」の件の話がありましたが、現在、消防署と施設管理者等に確認をしております。今しばらくお時間をいただきますようお願いいたします。

\*その後、調整結果のお知らせを頂戴しました。ありがとうございます。

今回感じた感想ですが、一言なら『備えたらまず使おう』です。

一番ゾツとしたのは地域の火事とか倒壊ではなく、備えてもすぐ使えないことが一番恐ろしいと思いました。

今回はテントと発電機でしたが、せっかく役に立つものを備えていても、いざって時に取説を読んでモタモタしていたり、必要な別売り部品に気づかなかつたら、それだけで失う命もあるかもなと思いました。

合同訓練があったおかげで気づいたことだと思います。

これだけでも訓練の甲斐があったと思いました。

#### 覚悟を共有する

沿岸部に住む人は津波を覚悟し、山間部に住む人は雪崩や噴火を覚悟します。我々仲町会も、木密地域で火災が同時多発的に発生したら、大変な事態になります。

住民それぞれが、何か自分に当てはまることを覚悟をすることが第一歩だと思います。

ひとこと

「(防災)訓練で、死なない、死なせない減災に」

よろしく願いいたします。

### 3、地区防災関係④

#### 1、概要

02月25日、仲町会と笹塚幼稚園様との実験的防災訓練実施。  
意見交換会にて、発災時を想定して、要援護者(要配慮個人情報)リストを町会に事前交付している件。

#### 2、良かった点

区防災課としても、そのリストの管理問題(流出・紛失等)があると、最悪訴訟等を町会か会長が受ける懸念があることを認識していることが確認できた。

#### 3、気づいた点

発災時の要援護者の避難支援サポートは、以前提示したように各戸をドアノックしていく現実解があるが、それとは別に行政側から厳格な情報管理を要求されるリストがすでに町会に交付されている。

#### 4、今後

個人情報保護の管理策案を検討する。(仲町会案作成担当保倉)

## 編集後記

### 編集後記：千里の道

今月の広報誌では、仲町会（渋谷区としても恐らく）初の私立幼稚園様と発災想定の実験的合合同訓練に関する内容が多くなりました。

こうして編集後記をしたための日が3月11日というのも、何か感慨深いものがあります。個人的には宮城県に父母が居る関係で東日本大震災の後に現地入りしたことがあり、その異様な光景と蒸しかえる空気と臭い、そうした中で活動する自治体、国土交通省、自衛隊、消防等の方々の姿、目を覆う惨状の中で生きる被災者の方々の記憶が今でも強く残っています。

世界中どこでも地域毎の特性があり、火山、津波、地震、雪崩、台風、土砂崩れ等々に加え、都会であれば都会なりのリスクもあります。日本は構造線で日本地図が描けると言われるくらいの自然災害の可能性があるので、どこに住んだとしてもその地域の持つ特性を認識し、「覚悟」を持って生きる必要があると考えます。

仲町会の皆さんと、一步一步着実に地域防災力を高めていければと考えております。本当は、いざという時は誰もがリーダーシップを発揮できるくらいになると良いのですが、私も含めそれにはまだ時間を要しそうです。

町会活動を通じて、楽しみながら、生きがいを感じながら、防災力アップ。  
是非、実現したいです。

渋谷区笹塚仲町会 広報部